



声援に応える（左から）小林、畠山、藤田3氏—25日、北海道恵庭市

営業・営農守る党 今こそ

北海道恵庭 畠山前衆院議員ら訴え

統一地方選と参院選で市民と野党の共闘前進と日本共産党の躍進をと、日本共産党演説会が25日、北海道恵庭市で開かれました。

地震発生後から党中央委員会北海道地震対策本部事務局長として震源の3町をはじめ被災地を何度も訪れ、被災者の声を聞き、国や道に要望を重ねてきた畠山和也前衆院議員が講演。命と暮らしを守り、営業・営農を元に戻すために連日奮闘する党地方議員・候補の活動を紹介。「時代を切り開く共産党員魂に感動しました。」国民

の苦難あるところ日本共産党あり。私も全力を尽くします」と力強く表明しました。

消費税増税中止の世論が高まるもので、ため込んだ利益（内部留保）が空前の400兆円超の大企業や、カルロス・ゴーン容疑者のような大資産家に応分の負担をさせるだけで10%増税は必要ないと強調。「安倍自公政権を倒すために日本共産党に力を貸してください」と訴えました。

地方選後半戦の恵庭市議選で、現有1から2議席獲得をめざす藤田俊輔、現1、小林卓

矢「新」の両候補が決意をのべました。

市内に住む高橋正子さん（71）は「久しぶりに畠山さんの話が聞けてうれしかった。国会はひどいと思っただけで、話を聞いてますます憤慨しています。市議選は若い2人を絶対当選させます」と意気込みます。

市内の吉田ゆり子さん（60代）は「安倍政権の暴走が分かりやすく、勉強になりました。たぐさんの政策は共産党がやればできるんだと実感しました」と話していました。